



## 第56回 通常総代会を 開催しました。

6月15日(月)、第56回通常総代会を開催し、第1号から第5号までの全ての議案が賛成多数で可決されました。

総代会とは、生協の運営に関わる重要事項を決定する最高の意思決定機関です。毎年6月に開催され、組合員の代表となる「総代」が参加し、京都生協の1年の予算や年間の活動方針、役員を選出などについて確認します。今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を大幅に縮小して開催しました。総代510人中502人が出席(書面による出席485人を含む)しました。今総代会では、222件の「私の想い」が寄せられました。

総代会の開催にあたり、京都府知事・西脇隆俊様、京都市長・門川大作様から祝電をいただきました。

2019  
年度

### 取り組んだこと ～特徴的な取り組み～

#### 宅配

- 個人宅配手数料の子育て割引を改定しました。
- CO<sub>2</sub> 排出係数をゼロにした「ゼロでんき」を新たに導入しました。
- 新たな配送センターとして、新洛東支部を開設しました。



#### 店舗

- 11月に新店「コープ山科新十条」がオープンしました。
- 電子マネーやクレジットカードによるキャッシュレス決済を進めました。



#### エシカル消費の推進

- メーカーや産直産地との連携を強め、京都産品の取り扱いや産地消を進めました。
- 環境配慮型商品や寄付金付商品などの普及に取り組みました。
- 京都生協コープ商品のメーカーと共同で、創立55周年記念商品を開発しました。



#### 事業活動での食品ロスの削減

- **宅配**  
食品廃棄につながる返品削減に向けて、返品ルールの見直しについて告知を進めました。
- **店舗**  
● 京都府、京都市の「食べ残しゼロ推進店舗」として取り組みを進めました。
- フードドライブ実施店舗を拡大しました。



### 組合員の暮らしに 役立ち続ける 存在であるために

理事長 畑 忠男



昨年、京都生協は創立55周年を迎えました。「平和とよりよき生活のために」「頼もしい隣人たらん」を合言葉にスタートし、55万人を超える京都府民が加入する生協へと成長しました。これまで、とも政をはじめ、生産者や取引先など、多くの関係者の皆さまに感謝を申し上げます。今年に入り、新型コロナウイルス感染症が広がり、経済や社会、私たちの日常生活にまで大きな影響が及んでいます。感染の影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、日夜対応を続けられている関係各所の皆さまに心からの敬意を表します。生協の宅配や店舗、福祉、葬祭、共済の事業はどれも普段の暮らしを支える重要なインフラであると自負しています。その自覚を持ち、求められる商品の供給、サービスの提供をはじめ、組合員の不安や困りごとへの対応に、全力で取り組んでまいります。

世界では気候変動による災害の増加、豊かな森林や海の破壊、飢餓や貧困などの問題を抱えています。一方で、国連を中心に持続可能な社会の実現に向けた大きな動きであるSDGs(持続可能な開発目標)やエシカル消費の取り組みも進もうとしています。

不安の大きい状況だからこそ、「人と人とのつながり」や「助け合い」という協同組合の理念と実践が大切です。一人ひとりの普段の暮らしを支え、さらに社会的な役割を發揮できるように、また未来に向けて明るい希望を創造できる京都生協をつくっていきましょう。

### 新型コロナウイルス 感染症対策を行いました



マスク着用の徹底をはじめ、会場入口ではアルコールで手を消毒、受付はソーシャルディスタンスを守って並んでいただきました。会場でも席を空けての着席にご協力いただきました。

2020  
年度

### 取り組むこと

新型コロナウイルス感染症拡大を防止する取り組みを継続し、組合員の暮らしを支える基盤としての役割発揮に努めます

#### 宅配

- 子育て層やファミリー層を中心とした、宅配利用人数と利用高を増やします。
- 「夕食サポート」「コープでんき」などの、暮らしを支える商品やサービスを広げます。



#### 店舗

- 「コープ山科新十条」を地域に定着させ、併設の洛東支部と連携した取り組みを進めます。
- 「子育て応援」割引の対象を、中学校卒業までに引き上げます。

#### 社会的な役割

#### 自然災害・感染症への対応

- 自然災害時の事業継続確保に向けた、マニュアルの見直しを進めます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、役職員の感染予防と対策を継続します。

- 食品ロス削減推進法への対応として、宅配では良品返品削減を進めます。店舗ではフードドライブ実施店舗と開催数を増やします。
- プラスチック問題への対応を進めます。





# 「私の想い」として寄せられた 組合員の声に答えて

専務理事 大島 芳和

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、エリア総代懇談会やブロック総代会議を中止せざるを得ない状況が生まれました。さまざまな制約の中、222件の「私の想い」をいただきました。大きく4つの特徴に分けて紹介します。

## 1 「コロナ禍」での事業継続に 多くの感謝の声

新型コロナウイルス感染症が広がる中、生協の事業や職員に対して多くの感謝と励ましの声をいただきました。そして、「いつもの暮らしがどれほど大切か、その貴重さを実感した」というお話もいただいています。これらの想いについては職員の中で共有し、生産者・メーカーの皆さまにも伝えていきます。

ご利用いただいている  
組合員の皆さまに感謝申  
上げます。



## 2 京都生協への期待

叱咤激励の声も含め、期待の声をたくさんいただきました。宅配のネット注文「eフレンズ」「ニコリエ」は注文しやすく、とても便利という発言をいただいています。今秋以降、注文用紙や電話で注文した人も、注文履歴が翌日15時から「eフレンズ」の画面で確認できる機能を追加するなど、さらに改善いたします。

商品についてはSDGsへの貢献やコープ商品、エシカル商品など、安全の確保に期待しているという声や、離乳食・乳幼児期商品の「きらきらステップ」「きらきらキッズ」などの充実を求める声を

いただきました。

宅配では今後、商品案内を整理しつつ、若年層向けの新しい商品案内を作る予定です。店舗でも「きらきらシリーズ」、特定原材料7品目を使わない「スマイルディッシュ」の取り扱いを拡大します。

一方で「注文商品の欠品は困る。せめて配達前に連絡を」などのご意見もたくさんいただきました。紙面や電話連絡では間に合わない状況になっています。物流での点数オーバーについては改善を図ってきました。今後、できるだけ正確な注文予想を行うことと、eフレンズ登録を進め、メール対応やホームページでの事前案内を強めていきます。

## 3 エリア会活動

組合員活動、特にエリア会の活動を通じて、自らの成長を実感しているという発言をいただいています。現在は組合員活動全般について自粛していますが、活動のルールを示しながら、7月以降の再開に向けて準備していきます。「新しい生活様式」が適用されれば、全てが今まで通りではありませんが、皆さまが「やっていてよかった」と言える組合員活動、エリア会の活動になるよう努力していきます。

## 4 具体的な商品・事業の改善提案

これらについても、コープきんき事業連合や日本生協連とも協議しながら、実現に向けて努力していきます。

そのほかにも多くのご意見をいただいています。本日すべてにお応えすることはできませんが、一つひとつしっかりと受け止め、実現に向けて努力していきます。



## 2020年度の 事業の推進について

2020年度の事業も2カ月半が経過し、たくさんのご迷惑をおかけしつつも、今のところ経営的には順調に推移しています。今後、重点課題にしっかり取り組み、新型コロナウイルスの感染第2波に対応する準備を進めます。また2020年は、京都大学ウイルス・再生医科学研究所への寄付金贈呈や医療従事者支援募金などの、新型コロナウイルス感染症対応への直接的な社会貢献も行います。

以上の「私の想い」への対応、事業活動、社会貢献活動は全て組合員の皆さま、生産者、お取引先それぞれに対する「頼もしい隣人たらん」とする考えに沿って進めていくものです。

この言葉と考えは、もともとは初代理事長の能勢克男が組合員の皆さまに呼びかけた言葉で、京都生協の組合員・職員みんなが共有できる考えだと思います。組合員一人ひとりの願いや想いを、みんなで知恵を寄せ合って形にし、笑顔になれる、そんな京都生協の実現に向かって、今年も1年努力を続けていきましょう。

京都生協は、職員ビジョン「頼もしい隣人たらん」の想いをイメージ化した、ブランドドムービー（動画）を制作、YouTubeで公開しています。当日は全員でブランドドムービーを視聴しました。



▲ムービー視聴はこちらから

### 議案採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号 2019年度 事業報告 決算関係書類承認の件	2	11	多数
第2号 2020年度 事業計画 および予算決定の件	4	12	多数
第3号 定款の一部改定の件	0	4	多数
第4号 役員選任規約の一部改定の件	1	3	多数
第5号 役員報酬決定の件	6	31	多数

全ての議案が賛成多数で可決されました

#### 総代出席状況

本人出席 17 委任状 0 書面出席 485 合計 502  
(採決数は議長2人を除く)

### 2019年度 事業の到達

■ 総事業高 802億 3,508万円 (予算差 △6億 8,291万円)

供給事業	実績	予算差	前年差
宅配事業	530億4,953万円	△5億1,546万円	+4億6,321万円
店舗事業	240億4,088万円	△9,011万円	+5億2,832万円
葬祭事業	9,239万円	△1,260万円	△1,025万円
供給高合計	771億8,280万円	△6億1,819万円	+9億8,128万円

・福祉事業収入 4億 8,840万円 (予算差△5,459万円)  
・その他事業収入\* 25億 6,386万円 (予算差△1,013万円)  
※ 共済受託手数料や葬祭承り手数料、個配手数料などの収入



### 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所へ 寄付金を贈呈しました



通常総代会の後、コープ御所南会議室で、京都大学ウイルス・再生医科学研究所への寄付金の贈呈式を行い、畑理事長より小柳義夫所長へ目録を贈呈しました。この寄付金は、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発につながる基礎研究に活用されます。

### 2019年度剰余金処分

法定準備金	6,000万円
出資配当金	4,645万円
任意積立金	4億8,600万円
次期繰越剰余金	5,308万円

### ■ 経常剰余金

9億 3,667万円  
(予算差+1億3,667万円)  
※ 事業総剰余金から事業経費・事業外収支を差し引いた金額。通常の事業活動をして最後に残った利益です。

### ■ 2019年度 出資配当について 出資配当率 0.30%

2019年度の出資金に対する配当を年0.30% (税引き後0.239%) とすることを決定しました。本事業年度末(2020年3月20日)に出資金残高を有する組合員で、かつ、本総代会当日在籍している組合員に対して配当します。

### ■ 2019年度経営結果

経常剰余金	9億 3,667万円
特別損失	6,433万円
税引前当期剰余金	8億 7,234万円
法人税等	2億 6,118万円
法人税等調整額	2,269万円

当期剰余金	5億 8,845万円
前期繰越剰余金	5,567万円
社会貢献活動積立金取崩額	140万円
当期末処分剰余金	6億 4,553万円